

善福寺公園かめ新聞

第3号 2004年9月5日



☆どんなところでカメがよく見られるの??

カメは甲羅干しをしているときによく見つけることができます。

上池では弁天島やその隣の小さい島の辺りで甲羅干しをしているものが見られます。また、スイレンの咲いている杭の上で甲羅干しをしているものも見られます。下池ではヨシが多いため隠れるところが多く上池ほどカメを見つけることはできにくいのですが、善福寺川よりのスイレンの辺りか、もしくは上池からつながる水路で見ることができます。

☆どうして網は水面より少し上にあがっているの??

池に仕掛けてある網は、どうして一部が水面の上に出ているのでしょうか?

カメは人間と同じく肺で呼吸する生物です。水中にいるカメは、水面に鼻の先だけ出して呼吸をします。ですから、中に入ったカメが溺死しないように、網を少しだけ水面に出しているのです。

☆雨の日でも作業はしているの??

雨の日にも作業は行っています。雨により水位が上昇する可能性があるため、それによるカメの溺死を防ぐため、網をいつもより上に上げる作業をしています。

☆どんな生きものがいたのかな??

8月の調査結果 ＜カメ＞

4種のカメ類を確認しました。

ミシシッピーアカミミガメ(外来種) 15匹

(6月からの合計86匹)

クサガメ 8匹

(6月からの合計34匹)

ニホンイシガメ 2匹

(6月からの合計6匹)

ミナミイシガメ(外来種) 1匹

その他

＜魚類＞

モツゴ

ナマズ

コイ(外来種)

ギンブナ

ハゼ類

ブルーギル(外来種)

カムルチー(外来種)

シクリッド類

(ティラピアの仲間 外来種)

＜甲殻類＞

テナガエビ

スジエビ

アメリカザリガニ(外来種)

今月のカメ

ニホンスッポン

Pelodiscus sinensis (スッポン科)



分布: 本州、四国、九州、琉球列島に分布し、国外では台湾、海南島、大陸中国東部、ベトナム北部、朝鮮半島、ロシア南東部などに分布しています。食用にするため人為的に移動されることが多く、琉球列島のうち奄美・沖縄・八重山・大東諸島に見られる島嶼集団は、すべて本州や台湾からの移入によると考えられています。

大きさ: 20cm〜大きいものだと35cmまで成長します。

食べ物: 肉食性で、魚や貝類、甲殻類、水生昆虫などを食べます。飼育下では植物質のものも食べるようです。

特徴: 甲羅は非常に扁平で柔らかな皮膚でおおわれていて、角質の鱗板がありません。鼻孔が頭部先端まで延び、口先が尖っています。また、水中生活に適応しているため、水かきが発達しています。

「一度かまれたら雷が鳴るまで放さない」という文句でおなじみのスッポンですが、かまれても、陸に置かか水に入るとすぐに放します。

日光浴のために上陸している姿が見られますが、物音には敏感に反応し驚くとすぐ水の中に入ってしまう。性格は荒く、くびが長くのびよく噛み付きます。噛む力はとても強いです。

日本本土の集団と台湾や香港の集団との間には、比較的はっきりした遺伝的差異があると考えられています。安易に国外や他地域間へスッポンを放すことは、個体群の純粋性をくずしたり、病気の伝染など深刻な影響を与える可能性があります。

善福寺に生息しているスッポンはこの地域で育ったスッポンです。種の多様性という観点からも、善福寺に生息しているスッポンを守っていきたいですね。



※ ニホンスッポンは東京都の保護上重要な野生物種 東京都レッドデータブック普及版(1999) ランクCで記載されています!